

## 2013 年度 第1回 CPC 研究会

日 時：5 月 17 日(金) 13:30～16:30

会 場：連合会館 201 号室

(〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11) TEL: 03-3253-1771

参加費：維持会員・大学官公庁関係＝無料 / 非会員＝15,000 円

**13:30～14:55**

### 「等方性ピッチ系炭素繊維の特徴とホットゾーン用断熱材」

大阪ガスケミカル株式会社 曾我部 敏明 氏

- 1) 等方性ピッチ系炭素繊維の概要
- 2) 等方性ピッチ系炭素繊維(ドナカーボ)の特徴
- 3) ドナカーボの用途例
- 4) 各種ホットゾーン及び使用される断熱材について
- 5) 成形断熱材(RI)に要求される特性とドナカーボ RI

当社の等方性ピッチ系炭素繊維「ドナカーボ」は、不規則にカールした曲状繊維という特徴を有する。この炭素繊維は、優れた摺動特性を発現させることから樹脂コンパウンドにも使用される。また、繊維同士の絡みが良く均質性に優れたフェルトなどの製品とすることができる。特に、シリコン、サファイア、炭化ケイ素などの結晶成長炉のホットゾーンで使用される成形断熱材に要求される機能や特性について、ドナカーボを使用した成形断熱材を例示して説明する。

**15:05～16:30**

### 「リグニンを原料とする中空炭素微粒子の開発」

産業技術総合研究所 亀川 克美 氏

- 1) リグニンの構造と分子量
- 2) リグニンの熱分解挙動
- 3) リグニン溶液のスプレードライによる中空微粒子の生成
- 4) 中空炭素微粒子の形態への無機添加物の影響
- 5) 中空炭素微粒子の導電性素材などとしての評価

製紙工業の副産物であるリグニンは国内でも年間 700 万トンに達する貴重なバイオマス資源であるが、素材原料としてはほとんど利用されていない。このリグニンと様々な無機化合物との水溶液をスプレードライで急速乾燥することにより複合微粒子を調製し、さらに熱処理してリグニンを炭素化することにより柔軟性のある紙風船のような炭素マイクロバルーンや、中空ナノ粒子が合体したスポンジ構造の殻から構成される中空炭素微粒子などを開発したので紹介する。

CPC 研究会講演会事務局行 FAX:029-861-8712 または e-mail: sec@cpc-society.org

5 月 17 日の研究会に出席します (連合会館)

お名前： 維持会員 非会員 大学関係  
ご所属：  
Tel： Fax：  
E-mail：